

## ポイント12 教育は親の仕事である

“教”とは父と子が交わることを表す字

学校教育というものが  
始ってから、親はわが子  
を良い学校に入れ、学費

を出すのがその仕事であるかのようになっていました。

しかし、“教育”という字は、それが親の仕事であることを物語っています。“教”とは、父と子とが交わることを表した字です。父がその生き方をわが子に見せ、子はその父の姿から生き方を学び取ることを表しています。

“育”は、子を逆さにした形の字と、肉(niku)とで作られた字で、この字の発音(iku)は肉の音に由来します。肉は食物の意味で、生れ出た子供に食べ物を与え、これを養い育てることを表したものです。

このように、教育が親の仕事であることは、漢字の成立ちがよくこれを明らかにしています。

子供はまねが好きで、しかもそれを飽きずに繰り返す(つまり、学習が好き)という性質があります。ですから、教育とは、「親が立派な言行

を示すべく努力する」の一語に尽きる、ということが出来ます。つまり、子供の目や耳の届く所まで、言行に極力注意して、少しでも立派な親の姿を披露するように努力することです。

コラム

**部首 艸**

草の生えている庭を象った象形字。

【芽】 ++と牙との会意形声字。草木の“め”の出始めの形は牙の形なので、芽でこれを表した。

【苦】 薬草は干してよく乾燥させて保存する。“古い草”とは薬草。“にがい”が本義。転じて“くるしい”となった。

【英】 “草の中央”“草花”が本義。特に房になって咲く花“はなぶさ”のこと。